



(仮称) 平川市若者議会 ワーキンググループ 第4回ワーキング

2020年9月25日(金) 愛知県新城市とのオンライン交流会 メンバー参加者：8名

～ プログラム ～

1. オンライン交流会

講師：新城市若者議会 事務局

松下課長・和田係長

平成26年度 新城市若者

政策ワーキングメンバー

清水さん・竹下さん

2. 質疑応答

3. ワーキンググループの今後の 方針説明

Web会議ツール「Zoom」を使い、若者議会の先進地：愛知県新城市とオンライン交流を行いました。



Zoom会議の様子

和田係長・松下課長

平川市



清水さん

竹下さん



質疑応答（講師の方々にお答えいただいた「質疑応答の一部」を紹介します）

Q 1：事業設計に向けて、メンバーの意見をどのように絞っているか？

A 1：「こうしたい」「こう思っている」という想いをメンバーからたくさん出してもらい、その上でメンバーにテーマを決めてもらっている。

Q 2：行政側からメンバーに向けて、テーマを提示したことはあるか？

A 2：ない。

Q 3：メンバーに宿題はあるか？

A 3：「次はこれについて考えてきて」など、SNSのグループトーク上で意見を出し合い、考えたり調べるなどの宿題があった。

Q 4：提案事業は議会に諮ることになるが、否決された場合はどうなるのか？

A 4：議会に対して事前にプレゼンする機会を設けており、そこで出来る限り説明している。否決された場合でも、修正して再提案することができる。

愛知県新城市との
オンライン交流会
終了後の
メンバーの感想

限られた時間で効率的に活動するため、次回の活動内容を事前に共有し、メンバーが意見や考えを持ち寄り、会議は意見交換からスタートできれば有意義。

SNSなどを使い、メンバー間での情報共有や話し合いができればいい。

新城市の事業は、若者だけではなく、市民の多くに喜ばれるような事業が多かったように思う。事業設計にあたっては、市民が本当に必要としているのかどうか考えていきたい。

グループの中で、進行を行うリーダーや、情報をまとめる記録係などの役割を、毎回固定して進めた方がスムーズ。



愛知県新城市若者議会の皆様、ありがとうございました。